



大学の世界展開力強化事業

# 日本とタイの獣医学教育連携

～アジアの健全な発展のために～



Hokkaido University  
Rakuno Gakuen University  
The University of Tokyo



Kasetsart University  
Chulalongkorn University

Collaboration  
of  
**Veterinary  
Education**

— between —

**Japan  
and  
Thailand**

for Sound Evolution of Asia



Collaboration of Veterinary Education  
**Japan and Thailand**



## 目的・必要性

新興再興感染症、食の安全、動物福祉および環境保全などが先進諸国及び新興国で新たな問題となり、これら諸問題は地球規模で取り組まなければ解決できないとの認識が広がっています。

これらの諸問題は獣医学の主要な教育・研究の対象であり、獣医師が責任を持って対処すべき問題です。特に高等教育機関では、この領域を支える人材の輩出が急務となっています。アジアにおいて獣医学は欧米先進国から遅れをとっているのが現状です。そこで、アジア全体の獣医学をレベルアップするため、日本の3獣医系大学とASEANを率いるタイの2獣医系大学が、各々の教育資源を活用して共同教育を開始することを決意しました。



## 概要

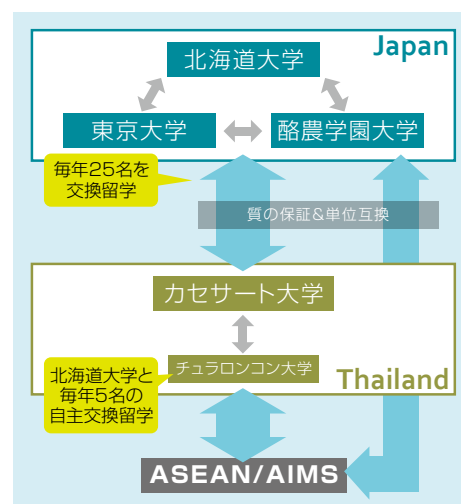
本事業は、タイあるいは日本の獣医学・文化・社会を学習し、体験することによって、

- 1 アジア全体を俯瞰できるグローバルな発想・思考力と英語でのコミュニケーション能力
- 2 獣医学の専門家として国際的に通用する知識と技能

を有する獣医師、獣医学教育者および研究者の養成を目指します。

感染症の制圧、食の安全、環境保全などは一国のみで取り組むことはできません。私たち国民の安心・安全は、アジアあるいは世界という、より大きなフレームで捉えなければなりません。

本プロジェクトの最終目的は、アジア各国で検疫・公衆衛生・動物診療などに従事している獣医師および獣医学研究者が、グローバルな意識と高度な知識・技術でこれらの諸問題に対処し、発生した国内で速やかに解決できる基盤を整備することです。本構想では、日本（北海道大学、酪農学園大学、東京大学）・タイ（カセサート大学、チュラロンコン大学）間の学生相互の派遣と受け入れ、単位の互換制度を整備することで、獣医学連携の強化を目指しています。このことは最終的にAIMSプログラムに基づきアジア全域の獣医師のレベルアップに結実することになります。

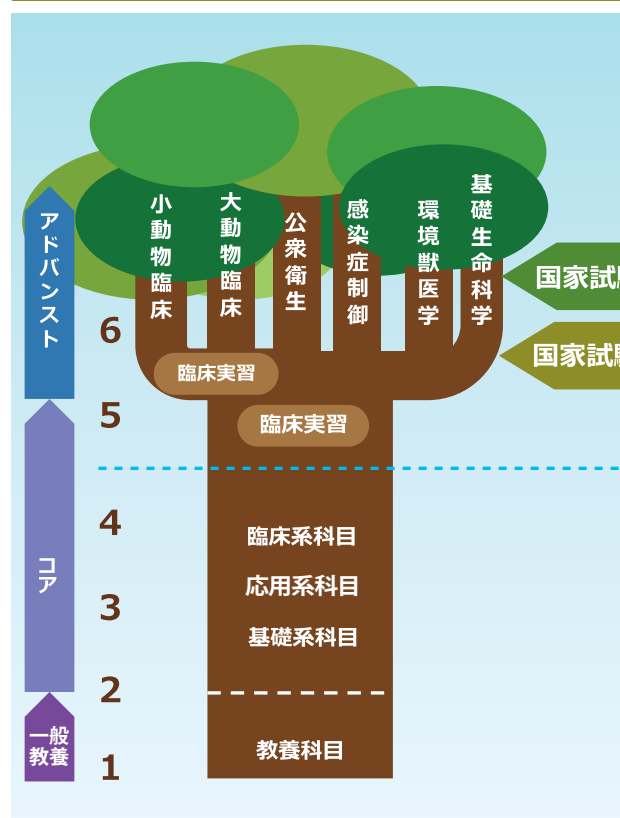




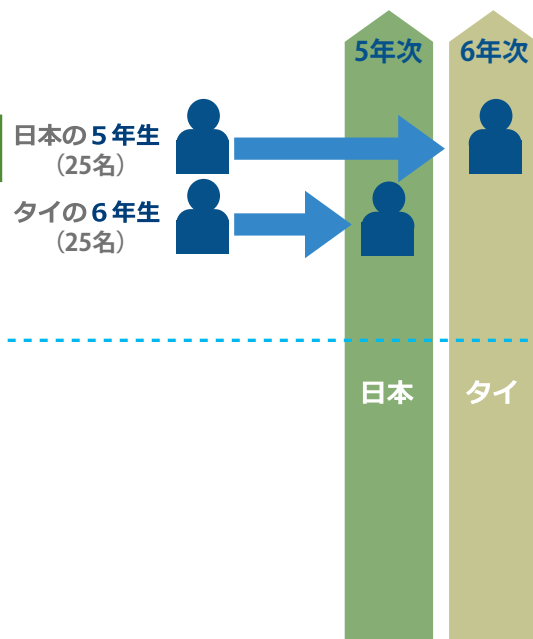
## プログラム

このプログラムは、獣医学の必修科目を既に修了した学部5年生または6年生に高度な獣医学教育を提供することを目的としています。獣医学のコア・カリキュラムは、基礎、病理学、応用・基礎臨床獣医学の講座から成りたっています。高度獣医学コースは必修または選択講座であり、学生たちは少人数グループで質の高い教育を受けることができます。高度獣医学コースは専門的獣医学講座であり、動物病院の臨床ローテーション、獣医学フィールド実習および獣医学研究実践で構成され、研究者として生物医学の技術と能力を身につけることができます。

### 日本でのカリキュラム



### 交換留学





## 相互派遣

CVEコンソーシアムの構成大学は日本とタイ間の学生交換を以下のように実施します。

**1** 北海道大学、東京大学、酪農学園大学、カセサート大学、チュラロンコン大学の学生(日本25名、タイ25名)を毎年相互派遣します。

**2** 交換プログラムに参加する学生は、各人において最初に所属大学が選定し、受入れ大学が最終入学決定をします。

**3** 受入れ大学の受入れ大学における在学期間は、所属大学が定める期間を超過することは出来ません。

**4** 受入れ大学は、他の会員大学の学生には入学金および授業料を免除します。

**5** 学生に発生する旅費、生活費、または他の必要経費については当該学生またはそのスポンサーが責任を負います。  
これについては各機関がそれら経費を補てんすることを目的として、独自に奨学金に応募することを妨げるものではありません。

**6** 受入れ大学は各学生の学習分野に適したコースを提供します。北海道大学およびカセサート大学に在籍するアドバイザーは学生への助言を行います。

**7** 留学期間中の学業を成功させるために、各学生は受入れ大学が適した学業コースの修了に必要とするレベルの語学力を持っていないなりません。

**8** 参加学生は、所属大学での学位取得候補としての学籍を継続して有します。

**9** 各大学は参加学生のコースワーク修了文書および習熟度に関する適切な学術的情報を相手側に提供することに同意します。受入れ大学で合格した科目は、所属大学で単位認定します。

**10** 受入れ大学は、学生が大学内もしくは近接した適切な住居探しを補助します。

**11** 交換プログラムへ参加するには、受入れ大学が必要とする健康保険に加入していることが条件となります。  
いかなる健康保険にかかる費用も、またその健康保険が適用されない他の医療費についても、交換学生個人の責任となります。

**12** 受入れ大学での在住期間中は、国家的緊急事態においては所属大学・受入れ大学双方が学生の安全確保に協力します。



## 年間スケジュール

HU=北海道大学

RGU=酪農学園大学

UT=東京大学

KU=カセサート大学

From	To	4 月	5 月	6 月	7 月	
KU	HU					
	RGU					
	UT	派遣学生の募集 および選抜	派遣事前説明会			
HU	KU					
RGU						
UT						
Meeting			国内運営委員会	プログラム 期間	カンベンセン キャンパス	バンコク キャンパス

From	To	8 月	9 月	10 月	11 月
KU	HU		プログラム 期間	10月中旬にRGUへ	
	RGU		プログラム 期間	10月中旬にHUへ	
	UT	派遣事前説明会	プログラム 期間		
HU	KU		プログラム 期間	カンベンセン キャンパス	
RGU			プログラム 期間	バンコク キャンパス	カンベンセン キャンパス
UT		バンコク キャンパス			
Meeting		国際運営委員会			

From	To	12 月	1 月	2 月	3 月	
KU	HU	派遣学生 報告会	シラバスの調整と更新		シラバスの公表	
	RGU					
	UT					
HU	KU				次期 派遣・受入の準備	
RGU						
UT						
Meeting		国内運営委員会	国際運営委員会			国際運営委員会

## 獣医学部紹介

北海道大学は、札幌の中心部に四季折々に彩る美しい広大なキャンパスを有しています。本学獣医学研究科・獣医学部は、獣医師の養成とともに、研究者となることを希望するものの基礎教育をも担っており、国際レベルの質の高い獣医師の養成、独創的な研究者の養成を目指しています。生命科学の研究者である前に獣医師であることが研究の展開に幅を持たせる結果になることは言うまでもありません。また、獣医師となる前に、基礎研究のトレーニングを受けることは、獣医師として臨床に臨み、質の高い医療を行う上で重要です。研究重視に加え、本研究科・学部のもう一つの特徴は国際性です。研究科では多数の外国人研究者との共同研究プロジェクトや、アフリカ、東南アジア、シベリア、北方4島、南米等をフィールドとした海外学術調査が進行中です。また、世界各国から多数の留学生が本研究科で学んでいます。国際人の養成と国際社会への学術的貢献は、国際レベルで質の高い獣医師、獣医学研究者の養成とともに、本研究科・学部の目指す道です。

本研究科・獣医学部では、5講座19研究室に所属する65人の教員のもと、210人の学部学生、91人の博士課程大学院生（うち、外国人大学院生44人）（2015年6月現在）が学んでいます。



## 研究室

### 基礎獣医科学分野

解剖学教室  
生理学教室  
生化学教室  
薬理学教室

### 病原制御学分野

微生物学教室  
感染症学教室  
寄生虫学教室

### 応用獣医学分野

放射線学教室  
実験動物学教室

### 臨床獣医学分野

獣医内科学教室  
獣医外科学教室  
比較病理学教室  
繁殖学教室  
動物分子医学教室  
先端獣医療学教室

### 環境獣医科学分野

毒性学教室  
野生動物学教室

### 衛生学分野

公衆衛生学教室  
獣医衛生学教室



## プログラム

Courses	Credit	
	Univ.	UCTS
<b>Advanced Seminar in Veterinary Clinics [Small Animals I]</b> Through communication with owners and clinical activities at the Veterinary Teaching Hospital, students cultivate problem-solving abilities required for caring for companion animals especially with neck, thoracic diseases and abdominal diseases.	1	1.8
<b>Advanced Seminar in Veterinary Clinics [Small Animals II]</b> Through communication with owners and clinical activities at the Veterinary Teaching Hospital, students cultivate problem-solving abilities required for caring for companion animals especially with orthopedic, neurological diseases, surgical disorders in soft tissues and tumorous diseases.	1	1.8
<b>Advanced Seminar in Veterinary Clinics [Large Animals and Clinical Pathology I]</b> Through the practices, students understand and become able to treat daily cattle from estrus to parturition, and also understand the points of in vitro production of embryos. Students learn biology, ecology and infectious diseases in Hokkaido wildlife, and also experience a small trip for fieldwork and zoological garden to study environment and zoo sciences.	1	1.8
<b>Advanced Seminar in Veterinary Clinics [Large Animals and Clinical Pathology II]</b> Students learn and experience several advanced procedures for the pathological diagnosis and the diagnosis of hereditary and neoplastic diseases in animals.	1	1.8
<b>Advanced Seminar in Reserch Laboratory Rotation I</b> Students experience laboratory practices, research seminars, lectures, and other activities, to learn basic/advanced skills/methodology in the research on microbiology and infectious diseases. Through the training at research laboratories, students also acquire basic and professional knowledge on research activities in the field of veterinary medicine.	1	1.8
<b>Advanced Seminar in Reserch Laboratory Rotation II</b> Students experience laboratory practices, research seminars, lectures, and other activities, to learn basic/advanced skills/methodology in the research on biomedical science, environmental and applied veterinary science and other fields in the veterinary medicine. Through the training at research laboratories, students also acquire basic and professional knowledge on research activities in the field of veterinary medicine.	1	1.8
Total	6	10.8

Kasetsart University

Hokkaido University



**Nantaporn Maytayapirom**  
Kasetsart University

## MY EXPERIENCE

Hokkaido University, all Prof. and Japanese friends are so kind and warm welcome to us. I am very glad to meet them. I feel very lucky that I can join this program. I learn lots of new knowledge that I cannot find out in the classroom. I have a lot of new Japanese friends, the Chinese and India friends in dorm, Japanese friends from the lab and animal hospital.

## 獣医学類紹介

本学の獣医学教育は、昭和39年に産業動物医療に従事する臨床獣医師の養成を目的に設置されて以来、獣医学はもとより酪農学や環境学を研究対象とする教員や広大なキャンパス内に飼育される産業動物を含めた教育資材を有効に利用し、先端的な産業動物関連の諸科学を学ぶことで酪農家を支援する実践的な獣医師の育成を図ってきました。近年、食の安全・安心に関する意識の高まりや新型インフルエンザ等の人獣共通感染症への対応、伴侶動物医療の高度化、進歩の著しい生命科学への参加等、獣医師に求められる範囲は拡大の一途にあり新たな獣医学教育が求められています。獣医学類ではこれまで培われた産業動物医療に関する知識や施設を最大限に活用しつつ、獣医学およびその関連分野における高度な知識と技術を習得し、追り来る諸問題を解決できる能力を養うことによって実践的な産業動物、伴侶動物、公衆衛生関連獣医師を育成し、また、わが国の獣医療や食の安全および動物の福祉ならびに生命科学における先端的研究を推進できる人材を育成します。獣医学群獣医学類では、所属する44人の教員のもと、680人の学部学生、24人の博士課程大学院生（2015年5月現在）が学んでいます。



## 研究室

### 生体機能教育群

獣医解剖学  
獣医組織解剖学  
獣医生理学  
獣医栄養生理学  
獣医生化学  
獣医薬理学  
獣医放射線生物学

### 衛生・環境教育群

食品衛生学  
環境衛生学  
人獣共通感染症学  
獣医疫学  
獣医衛生学  
ハードヘルス学  
獣医倫理学

### 感染・病理教育群

獣医ウィルス学  
獣医細菌学  
獣医寄生虫病学  
実験動物学  
獣医病理学  
獣医免疫学

### 生産動物医療教育群

動物生殖学  
生産動物内科学I  
生産動物内科学II  
生産動物外科学

### 伴侶動物医療教育群

獣医麻酔学  
画像診断学  
伴侶動物内科学I  
伴侶動物内科学II  
伴侶動物外科学I  
伴侶動物外科学II



## プログラム

Courses	Credit	
	Univ.	UCTS
<b>Clinical Rotation in Livestock Animal Medicine</b> Through a combination of clinical seminars, training for basic clinical skills and practice at the Veterinary Teaching Hospital, students gain clinical skills and problem-solving abilities required for practitioners of production animals.	6	11.9
<b>Veterinary Hospital Training Course</b> Students gain the problem-solving abilities required for small animal practice through participation in the clinical activities at the Veterinary Teaching Hospital that include communications with owners.	1	2
<b>Advanced Hygiene and Environmental Science I</b> Through a combination of laboratory training for basic/advanced diagnostic skills and seminars on 'one health' issues, students understand technology and administration related to safety and sustainable food delivery.	1	2
Total	8	15.9



Kasetsart University

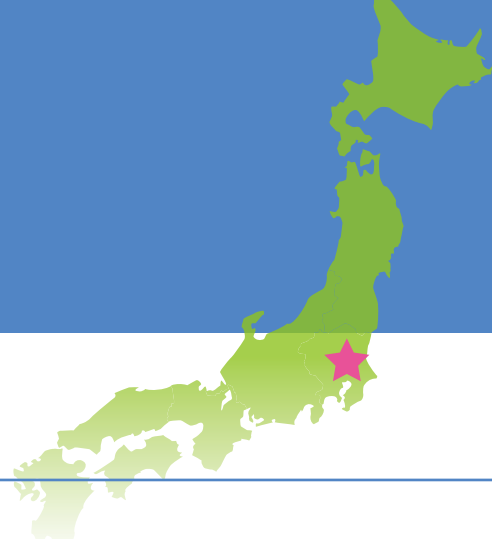
Rakuno Gakuen University

## MY EXPERIENCE



Issaree Laopirun  
Kasetsart University

Before I left Thailand, I was very happy to enroll in the AIMS programme with high expectation; to open new view point of life, gain new knowledge, see high technology about veterinary medicine, make new friends and learn Japanese culture. I was impressed with teachers and staffs in each laboratory and hospitals. Staffs in laboratory prepared everything for us and they have very good English skill. I joined ophthalmology unit in Rakuno Gakuen University Teaching Hospital. Staffs in the hospital were very good and kind to me. They explained everything. I have got a lot of good friends. They helped me a lot in everything. We had a lot of great moment together.

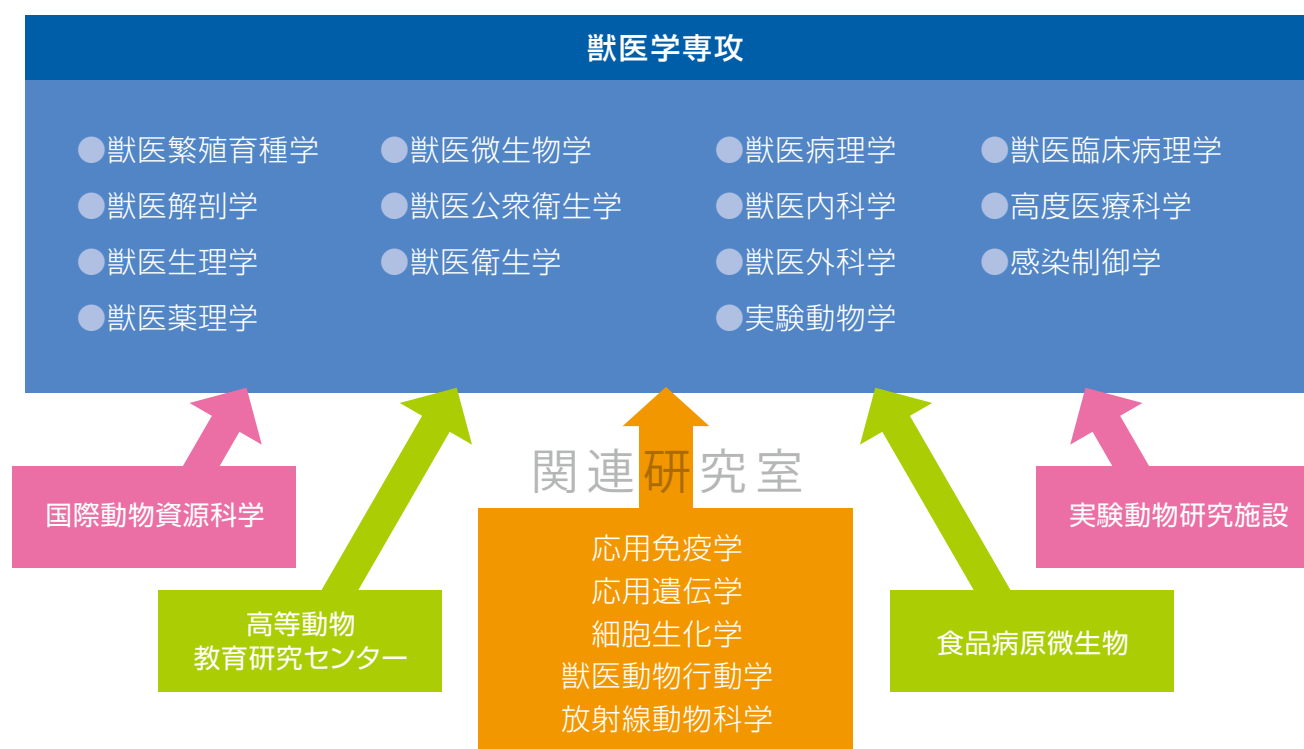


## 獣医学専修紹介

東京大学農学部獣医学専修は、東京大学憲章にある「世界的視野をもった市民のエリート」としての獣医師を養成することを目的としています。当専修は、生命科学をはじめとする幅広い学問に基づいた高度な獣医学の教授を通じて、地球規模の課題を自ら解決しようとする強い使命感と意志と能力、および社会科学に対する深い理解と高い倫理性・人類愛を涵養し、もって日本および世界において獣医学領域のリーダーとして活躍する下記のような人材を育成します。

- 1 One healthの基本的な考え方を理解し、地球レベルの視点で人の健康増進、地球環境保全、動物衛生、動物福祉などの公衆衛生に関連する諸問題を解決する能力を持ち、政府系機関あるいは国際機関等で活躍することを目指す人材。
- 2 世界の食料事情と畜産事情に精通し、獣学的観点から畜産に関わる諸問題を解決する能力を持ち、政府系機関あるいは国際機関等で活躍することを目指す人材。
- 3 国際標準の獣医臨床知識と技術を確実に身に付け、かつ幅広い知識に裏付けられた倫理性を備えた総合医療、あるいは高度獣医療を提供する専門医や高度な臨床研究・トランスレーショナルリサーチを行う研究者を目指す人材。
- 4 動物生命科学の基礎知識を確実に身につけ、最先端の研究活動を体験することにより、新たな研究分野を創造し、次世代の獣医学教育を担う国際レベルの教育者・研究者を目指す人材。

## 研究室





## プログラム

Courses	Credit	
	Univ.	UCTS
<b>Practice of Pathology (Diagnostic Pathology)</b> The practice course deals with diagnostic pathology in small animals, especially with neoplastic diseases. Skills for conducting necropsy, histopathology and cytology examinations as well as clinicopathological and morphological natures of tumors of neoplastic diseases are provided.	2	3.2
<b>Practice of Virology and Immunology</b> In this practice, students can learn basic procedures for virus isolation from infected animals, and for serological, antigenic, and genetic diagnosis for viral infections.	1	1.6
<b>Practice of Veterinary Public Health</b> In this course, students learn basic and applied epidemiological techniques for analysis of surveillance data and risk assessment for animal health and food safety. Students exercise with actual or mock data.	0.5	0.8
<b>Practice of Food Hygiene</b> In this course, students learn basic knowledge and procedures to assure food safety, mainly in Japan. Students visit important site(s) for food safety assurance such as meat hygiene inspection office at slaughterhouse. Students also learn and practice methods to presume the cause and situation in food poisoning cases and to deal and proceed veterinary public health problems through exercise and simulation.	1	1.6
<b>Rotated Practice of Small Animal Surgery</b> Small animal surgical rotations utilize the case method approach. Under supervision the student records case histories, performs physical or orthopedic examinations as well as diagnostic and basic surgical and anesthetic procedures, and learns basic case and client management.	4	6.4
<b>Rotated Practice of Small Animal Internal Medicine</b> The student records case histories, performs physical examinations of patients under the supervision of doctors. The student also learns diagnostic, basic medical procedures, basic treatments, and case and client management through discussion with members.	4	6.4
Total	12.5	20

Kasetsart University

The University of Tokyo

## MY EXPERIENCE



Phatchanok Sungthong  
Kasetsart University

I sincerely thanks to everyone who cooperated this awesome program and The University of Tokyo. I did enjoy and learn lots of things. It was a great opportunities in my life to join this program. I will definitely keep this experience in my mind and use it for further future especially in my career future path.



## 獣医学部紹介

カセサート大学獣医学部は、タイにおける最も古い教育施設のひとつで、獣医教育を提供している。獣医学部は2つの素晴らしいキャンパスを持つ。メインキャンパスはバンコク北郊外に、2番目のカンペンセンキャンパスはバンコクから西へ80Km離れた農業の中心地カンペンセンに存在する。バンコクキャンパスにはバンコクで症例件数の最も多い最大級の附属動物病院があり、最新設備を配備している。附属動物病院では主に、イヌ、ネコなどのペット、また齧歯類、ウサギ、爬虫類および水中動物等の外来種を重点的に取り扱っている。カンペンセンキャンパスの附属動物病院では、ペットを始め、乳牛、肉牛、馬、象、その他の野生動物及び豚、家禽並びに魚類などの商業的重要性のある食用動物まで、より幅広く動物を取り扱っている。更にカンペンセンキャンパスでは、診断並びに研究ユニットなどの重要施設を所有し、教育および学習目的のため60頭を超える乳牛や300頭の肉牛を飼育している。カンペンセンキャンパスから50km離れた、小規模の酪農農家が密集しているノンポーに存在する附属動物病院は、酪農実習を行う理想的な場所である。この利点および大学教員、ペットオーナー、農家並びに民間企業との強い繋がりにより、カセサート大学は「learning by doing (実践により学ぶ)」という大学理念に基づいたアプローチに沿って学習できる、理想的な獣医学教育機関です。



Hokkaido University

Kasetsart University



Masao Togao  
桐尾 正雄

Hokkaido University  
北海道大学

## MY EXPERIENCE

私がこのプログラムに参加を決めた理由は二つありました。

一つは日本とタイでの獣医学教育の違いを感じることに。二つ目にタイの友人を作ることでした。

3か月の間に獣医学に関する日本では習わない多くの知識と経験、技術を得ることができました。それにより、国によって価値観が異なるということを感じることができました。また、何よりも多くの新しい友人を得ることができました。この友人とは今でも連絡を取っています。この3か月は私にとって最高の時間でした。

# 研究室



## KU Department

Department of **Large Animal and Wildlife Clinical Sciences**  
 Department of **Farm Resources and Production Medicine**  
 Department of **Small Animal Clinical Science**  
 Department of **Veterinary Public Health**  
 Department of **Microbiology and Immunology**  
 Department of **Pathology**

## KU Veterinary Teaching Hospitals and Demonstration Farm

**KU-VTH, Bangkok**  
**KU-VTH, Kamphaeng Saen**  
**KU-VTH, Nong Pho**  
**Demonstration Farm Unit, Kamphaeng Saen**



Rakuno Gakuen University

Kasetsart University



Aya Imai  
今井 文

Rakuno Gakuen University  
酪農学園大学

## MY EXPERIENCE

「タイで研修」と初めて聞いた時、一体どんなことが勉強できるのかという期待と共に、不安があったのも事実です。帰国した今、この研修に参加できて本当に良かったと思っています。

特に大動物臨床では、日本では普段見ることができない疾病を自分自身の目で見ることができ、良い経験となりました。カセサート大学では、研修中毎日先生から多くの質問や発表を課されました。タイの学生はとても積極的で勉強熱心であり、専門用語を含む英語でのコミュニケーションは大変ではありましたが、互いに多くのことを学ぶことができました。カセサート大学の先生方、本事業の関係者の皆様、タイの友人達に感謝しています。

# プログラム

Courses	Credit	
	Univ.	UCTS
<b>Clinical Practice in Farm Animals</b> Practice in farm visiting, production and health monitoring, clinical examination, diagnosis, treatment and preventive medicine in farm animals, emphasizing on swine, poultry and aquatic animals.	6	9.6
<b>Clinical Practice in Farm Animals II</b> Practice in farm visiting, production and health monitoring, clinical examination, diagnosis, treatment and preventive medicine in farm animals, emphasizing on swine, poultry and aquatic animals.	4	6.4
<b>Clinical Practice in Microbiology II</b> Clinical practice in Microbiology. Knowledge integration of sample collection, sample handling, diagnostic virology, serology and molecular biology, laboratory analysis and interpretation for disease investigation. Using problem-based learning.	1	1.6
<b>Clinical Practice in Epidemiology</b> Practice in veterinary public health and epidemiology, survey and study design, statistical analysis, social determinants of health, disease investigation and surveillance system.	2	3.2
<b>Clinical Practice in Large Animals</b> Combination of comprehensive lectures and clinical practices in medicine, surgery, theriogenology in ruminant, equine, and wildlife. Herd health management in ruminant species including dairy and beef cattle and small ruminants at veterinary teaching hospital and private farms. Wildlife ecology management practice in wildlife and exotic species practicing at veterinary teaching hospital and on wildlife national park.	6	9.6
<b>Clinical Practice in Ruminants and Wildlife</b> Combination of comprehensive lectures and clinical practices in medicine, surgery, theriogenology in ruminant, and wildlife. Herd health management in ruminant species including dairy and beef cattle and small ruminants at veterinary teaching hospital and private farms. Wildlife ecology management practice in wildlife and exotic species practicing at veterinary teaching hospital and on wildlife national park.	4	6.4
<b>Special Clinical Practice in Small Animal</b> Student gains the clinical skills in small animal practice. The practice aims to obtain professional skills particularly on medicine, surgery and theriogenology in small animal.	3	4.8
Total	26	41.6

The University of Tokyo

Kasetsart University

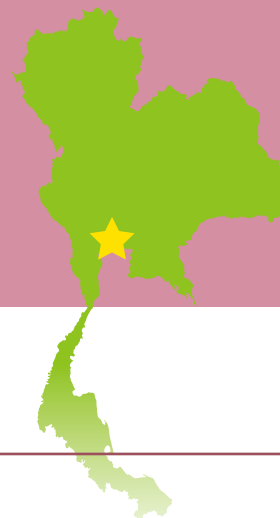


Ayaka Yoshida  
吉田 彩夏

The University of Tokyo  
東京大学

## MY EXPERIENCE

留学前はちゃんと生活できるのか不安でしたが、タイでの留学生活はとても楽しくあっという間に終わってしまいました。カセサート大学での実習は日本に留まっていたら体験できなかったものばかりで、将来の進路を深く考えるきっかけになりました。実習外では現地の経済、文化や生活を肌で感じることができ、自分の視野を大きく広げることができました。そして現地で出会った先生や学生は何よりもかけがえのない思い出になりました。



## 学部紹介

チュラロンコン大学獣医学部は1935年に設立されました。メインキャンパスはバンコックの中心、アンリ・デュナン通りに位置し、前臨床および臨床医学部に加え、専門病院と診断ラボを備えた小動物大学病院を併設しています。バンコクの西60kmに位置するナコーンパトム県にある50エーカーの観察フィールドには、チュラロンコン大学獣医トレーニングセンターがあり、もう一つのキャンパスとして機能しています。このセンターでは、学生に畜産における畜産訓練、獣医学、病理学および繁殖についての講義を行います。更に、ナコーンパトム県にある動物病院は、家畜及び伴侶動物に最善の治療を行う設備、並びに獣医学部生に高い品質のトレーニングを行う施設など、近代化された設備を備えています。



## プログラム

Courses	Credit
	Univ.
<b>Swine Clinical Laboratory Practice</b> Clinical laboratory practice in medicine, surgery, obstetrics, pathology, and diagnostic techniques in swine.	3
<b>Swine Clinical Practice II</b> Field practice of veterinary skills to control and prevent infectious, noninfectious and the epidemic diseases of swine; problem solving by the knowledge in epidemiology, preventive medicine, disease investigation, surveillance and eradication; advanced training and practice in swine farm and swine clinic at livestock hospital.	2
<b>Equine Clinical Practice</b> Clinical practice in examination, diagnosis and treatment of equine medicine, surgery and obstetrics.	1
<b>Wildlife and Exotic Animal Health Management</b> Basic of biology of wild, zoo and exotic animals; principles of raising and managing these animals; common diseases and zoonotic diseases; related laws, regulations, ethics and animal welfare; preventive medicine and health management of wildlife animals, including conservation of wild animals in nature and new habitat.	2
<b>Poultry Clinical Field Practice</b> Clinical field practice in poultry health management: husbandry, hygiene, diagnosis, treatment, control and prevention of diseases.	2
<b>Ruminant Clinical Field Practice</b> Clinical field practice in diagnosis, medical, surgical, and reproductive treatments of ruminants; evaluation of herd health status and diseases; report on disease cases and farm visit.	2
Total	12

## AIMS Activity Report in Thailand

Name	Akie Shimmen
Home University	Rakuno Gakuen University
Period of time	2 September, 2015 ~ 28 November, 2015
Host University	Kasetsart University



約3か月にわたるカセサート大学への留学についての報告

### ①伴侶動物クリニカルローテーション

#### ・伴侶動物手術ユニット(9/7~9/25)

私たちは1週間ごとに麻酔科、一般外科、整形外科、軟部組織外科に所属し研修を行いました。麻酔科では麻酔薬の準備、気管挿管、麻酔記録をとるなどしました。その他の科では手術の助手として術創の血液の除去や皮膚縫合などを行い、各科では毎日書いたレポートを毎週金曜日に提出しました。テストではタイの学生と2人1組になり各グループで症例を選び、麻酔薬選択から実際の手術を行うというものでしたが、手術自体はタイの学生が行い私は助手に入りました。手術中は先生から数個の質問が出され、それに口頭で答えるというものでした。タイでは自分で計画したプロトコルを実際に行うので、命に対する責任を大きく感じ、実際の診療現場で獣医師にかかってくる責任の重さを本当に知ることができました。

#### ・伴侶動物内科ユニット(9/28~10/16)

内科ユニットでは、多くの診療科に分けられており、私達が実際に加わったのは泌尿器科、神経科、内分泌科、ネコのみを診察する科、エキゾチック動物科、眼科、画像診断科でした。内科では診療の助手、身体検査や採血などを行いました。診療は先生やタイの学生がタイ語で稟告の聴取を行い、診察の合間や後に英語で説明を受けるという形式が多かったです。診療後に先生から症例についての質問があり、答えられなかった問題に関しては宿題となりました。全ての科を回ることではできませんでしたが、多くの症例を見ることができました。エキゾチック動物科では陸ガメ、インコ、ウサギなど日本ではほとんど見るることのできない症例を見ることができました。内科ではテストはなく、3週間で見てきた症例の中から一つ選んでレポートを作成するというものでした。





## ②大動物クリニカルローテーション

### •Bovine unit (10/19~10/30)

Bovine unitでは大学外の農場への往診随行、デモンストレーション農場での実習を行い、往診随行ではタイの乳牛飼養方や診療を見ることができました。家族で営んでいる農場がほとんどで、1農場20~40頭と飼育頭数も少なく、乳量も1日15~17kgと日本に比べ少なかった。どの農場も踏み込み層などはなく、感染症に対する意識の低さを感じました。獣医師自身も靴を洗浄するなどの予防対策をとっていなかったのが印象的でした。デモンストレーション農場では直腸検査、削蹄、採血、角神経麻酔など各種局所麻酔を実際に行うことができました。

### •Wildlife (11/2~11/6)

Wildlifeではエキゾチック動物の解剖学や診療方法を学び実際の症例についてディスカッションを行いました。別の日には野生動物保護地域に移動し、その地域に生息する野生動物の生態調査の一部を見学することができました。中でも、野生の象を直接見ることができた時はとても感動しました。この象はキャンプ場に置いてある塩を食べに来ていました。

### •ノンボーにおけるBovine unit (11/9~11/13)

ノンボーの動物病院では基本的に各農場に往診随行し診療に加わりました。この地域は口蹄疫の発生地区で、実際過去に口蹄疫が発生した農場にも往診に行きました。ノンボーでは各農場で診療後に長靴を洗っていたので、カンペンセンに比べ感染症に対する意識の高さを感じました。

### •Horse unit (11/16~11/26)

馬の病院では病院に運ばれてきた症例の診療の手伝いや麻酔実験の麻酔記録などを主に行いました。また自分達が受け持った症例の世話やケアを行いました。Colic 症例や関節や蹄葉炎の症例が多かった。日本では馬の診療に関わる機会が少なく、今回は貴重な体験ができたと感じました。また、馬の直腸検査や超音波を用いた子宮と卵巣の検査を実際に行うことができました。馬の卵胞は牛に比べてとても大きいことを実際に超音波で見ることができました。



## ③タイでの生活

### •バンケンキャンパス

ドミトリから大学まで徒歩10分ほどであったため、通学に問題はなく、帰りが遅くなった時は同じグループのタイの学生がドミトリまで送ってくれました。

### •カンペンセンキャンパス

カンペンセンでは大学内のドミトリに滞在しました。カンペンセンキャンパスはとても広いので、移動には自転車を使用していましたが、同じ班のタイの友達がバイクや車に乗せてくれたため、移動に困ることはありませんでした。自転車が大学内でしか使えなかったことは不便に感じました。

いずれのキャンパスにおいても日用品は近くのコンビニエンスストアなどで購入することができました。食事はすべて外食で、一食約20~50バーツと安かったです。

ドミトリの周囲には野良犬が多く、その中の一匹に噛まれてしまったため狂犬病のブースター接種を5回行わなければならませんでした。カンペンセンキャンパスから車で30分ほどのところに日本で契約した保険の使える病院があったため、毎回(ほぼ毎週末)その病院へ行くことになり、病院へは大学の先生が車で送り迎えをしてくださいました。

今回、多くの助けを受けて無事に3か月間の留学を終えることができました。またかけがえのない友達を得、多くの思い出を持って帰ってくることができました。



## AIMS Activity Report in Japan

Name	Arpakul Boonlert
Home University	Kasetsart University
Period of time	1 September, 2015 ~ 27 November, 2015
Host University	Hokkaido University



Before studying in Japan: I want to learn a different education system and gain new perspectives on things I normally wouldn't have. And training clinical practices as much as possible.

And I had a bit worried that in the start, it would be hard for me to get along the courses, not the language, but the scientific terms and the curriculum difference between the Thai national curriculum and the Japanese/international curriculum. My other worries is the Japanese language, I would still need to learn a lot of Japanese to get along living there. But I believe this is something a student could overcome, maybe it will just need a little bit of adjustment in the beginning and hard work studying. There is one other factor that I am still worried about.

To study and live in Japan is to be a part of the Japanese community. I have no problem about this. In fact I look forward to being a exchange student, to merge with the Japanese culture. I believe that every culture has their own wisdom and virtues and it is an advantage to learn these new values. Especially since Japanese are famous for its attitude, discipline and work ethics, I hope I can be like that too. I don't want go to Japan only to gain academic knowledge, but also to improve my personality and soft skills.

When I was studying in Japan, First I start at Hokkaido University where I study many veterinary researches in 4 laboratory includes Public health laboratory, wildlife biology and medicine, pharmacology and Laboratory animal and medicine. All of laboratory gave me many knowledge and made me concern about my future that I will continue study master degree or start working. For example, in public health laboratory I got many knowledge, experiences and I have trained a laboratory practice.



my practice in Public health lab



Next I study in laboratory of wildlife biology and medicine. We went to the Sapporo Maruyama Zoo with Associate Professor Michito Shimozuru. We visited Veterinary unit of the zoo that contains necropsy room, operation room and recovery room. Next, we are very lucky because we had a chance to see how to training the eagle owl. I was very exciting to see the eagle owl so close.

Moreover, I practice in small animal clinical practice includes Internal medicine and surgery unit. Unfortunately the most is observed learning. I had no chance to do the procedure with animal by myself, so I follow doctor and resident to learning how to diagnosis, how to treatment. I see the high technology diagnosis tools such as CT-scan, MRI and Radiation therapy.

When I studied in surgery unit I and my friends did a presentations topic about surgical technique for Peripheral nerve sheath tumor and abdominal mass.

In laboratory of Theriogenology, we went to experimental dairy farm with Assistant Prof. Yanagawa and visited around the farm. We had a chance to do a rectal palpation and ultrasonography of genital organs for evaluates reproductive system. After that we observed the milking process, checking prepartum cow and PhD.student shows us the artificial insemination. It was very excited for me because I didn't do a rectal palpation for long time. I have to recall my skill.

One of the problems is language barrier. Somebody doesn't speak with us, so it's made difficult for communication. So I think we have to learn basic Japanese language in social life.

In social aspect I have met many good Japanese friends who help me for many things. But tutoring system doesn't work. Some Japanese tutor doesn't come such as my tutor, unfortunately. But some tutors are very kind and friendly.

In holidays I have traveled around Sapporo prefecture, Otaru and Hakodate. We have tried amazing food.

In conclusion, for me AIMS program is a very good program. Students have a chance to develop the academic skills and gain myself-motivated, independent, willing to embrace challenges, and able to cope with diverse problems and situations. The last I want to say thank you to everybody who Support this program and support us.



surgery unit presentation



Group A students at Hokkaido University

## お問い合わせ

### 北海道大学

獣医学部

世界展開力強化事業担当

〒060-0818 北海道札幌市北区北18条西9丁目

TEL:011-706-6108

e-mail [cvejt@vetmed.hokudai.ac.jp](mailto:cvejt@vetmed.hokudai.ac.jp)

### 酪農学園大学

獣医学群獣医学類

世界展開力強化事業担当

〒069-0836 北海道江別市文京大緑町582

TEL:011-388-4161

e-mail [sekaitenkaib@rakuno.ac.jp](mailto:sekaitenkaib@rakuno.ac.jp)

### 東京大学

大学院農学生命科学研究科 獣医学専攻

獣医繁殖育種学研究室 教授 前多 敬一郎

〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1

TEL:03-5841-5380

e-mail [akeimaed@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp](mailto:akeimaed@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp)

### カセサート大学

獣医学部

50 Ngamwongwan Road, Jatujak, Bangkok 10900, Thailand

TEL:+66-0-2579-0113

### チュラロンコン大学

獣医学部

Henri Dunant Road, Pathumwan, Bangkok 10330, Thailand

TEL:+66-2-218-9578



<http://cve.vetmed.hokudai.ac.jp/>

